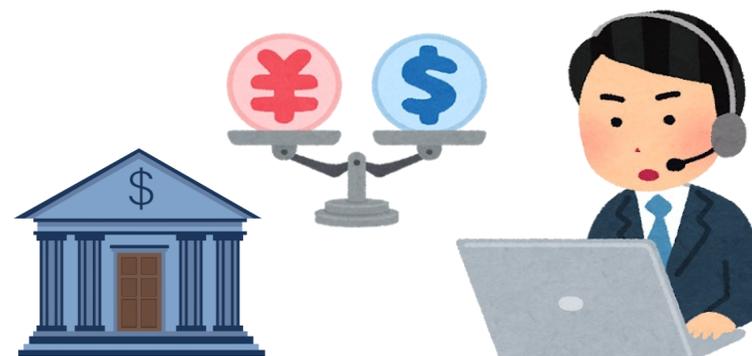


ニュース解説



**「FRB議長が利下げ示唆」
→ ドル売り活発に！**



最近、「FRB議長が**利下げ**を示唆したことで、**ドル売り**が活発に」というニュースをよく耳にします。

FRBとは、**Federal Reserve Board**の略
(米連邦準備制度理事会)



ドル売りで**ドル安**・**円高**

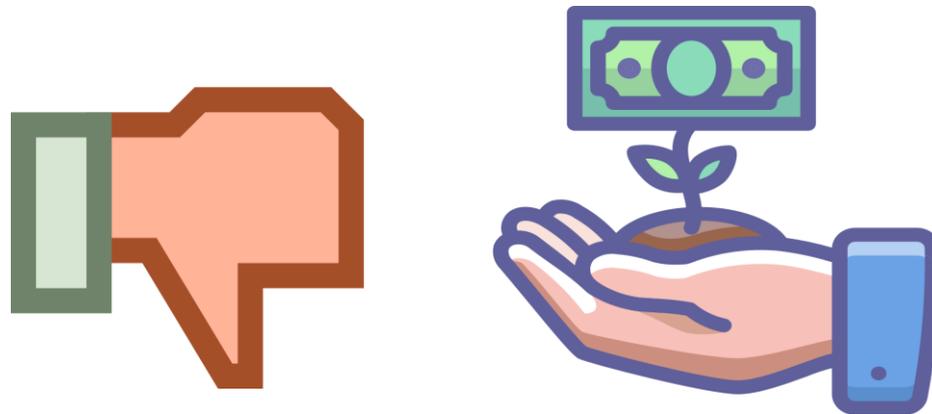


では、なぜ、FRB議長の発言で
ドルが売られるのでしょうか？



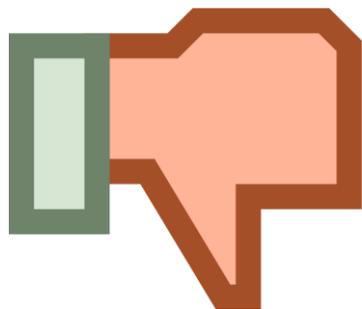
利下げとドル安

その理由は、FRBが**利下げ**を行うと、米国の短期金利が低下し、ドル建ての資産（金融商品）の**リターンが減少**するからです。



利下げとドル安

これにより、投資家はより高いリターンを求めて他の通貨（例えば円）に資金を移動するため、ドル売りが進み、ドル安が進行するのです。



🍀 貨幣供給量と貨幣価値



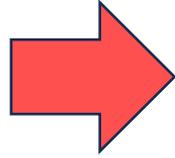
中央銀行



ちなみに、金融緩和政策の一部として**量的緩和**（QE）が行われることがあります。

なお、「QE」は「**Quantitative Easing**」の略です。
クオンタテイティブ イー징

貨幣供給量と貨幣価値



量的緩和では、中央銀行が**国債**やその他の資産を**購入**して市場に資金を供給し、貨幣供給量を増やします。これにより、**貨幣の価値が低下**し、ドル安が進むことがあります。

🌱 為替レートはどこで決まるか？

為替レートは、**外国為替市場**で決まります。中央銀行の政策、経済指標、政治的イベント、そして投資家の行動など、さまざまな**需給要因**が為替レートの決定に影響を与えます。



需給要因

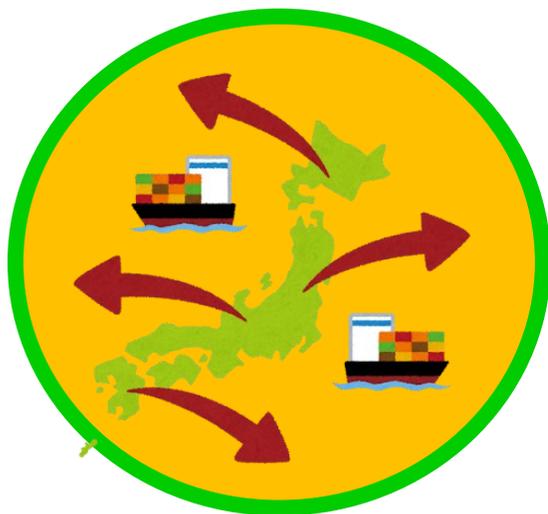
- ◆ 金融政策
- ◆ 経済指標
- ◆ 政治的イベント

外国為替市場には物理的な取引所はなく、取引参加者は特定の場所に集まることなく、世界中からリアルタイムで取引が行われます。これは、デジタル技術を利用したオンライン取引市場（または、電子取引市場）です。



為替レートと企業業績の関係: ドル安・円高へ推移

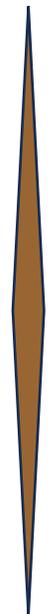
為替レートがドル安・円高へ推移すると、日本の輸出企業や観光業には不利に働きます。一方、輸入企業（原材料を輸入に依存する企業を含む）には有利に働きます。



輸出企業



観光業

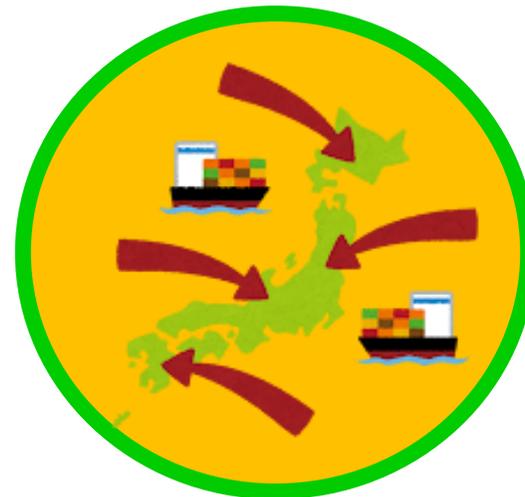
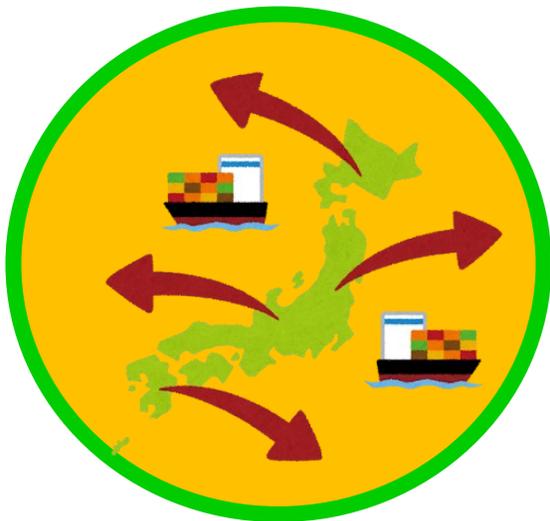


輸入企業



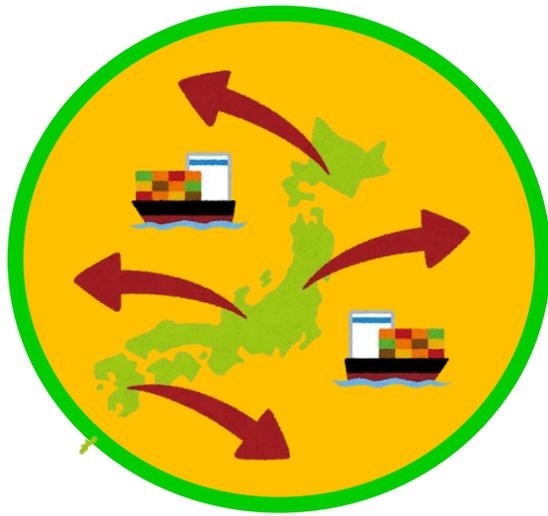
🍀 もう少し詳しく説明すると

ドル安・円高が進むと、日本円の相対的な価値が上がり、1ドルで得られる日本円の額は減少します。このため、輸出企業は、商品販売で得た外貨が同じでも円換算すると減額になります。つまり、ドル安・円高は減益要因になります。一方、輸入企業は、より少ない円で外国から製品を購入できます。また、原材料を海外から購入する企業のコストは下がります。つまり、ドル安・円高は増益要因になります。



為替レートと企業業績の関係: ドル高・円安へ推移

反対に、ドル高・円安が進むと、日本の輸出企業や観光業には有利に働きます。一方、輸入企業（原材料を輸入に依存する企業を含む）には不利に働きます。



輸出企業



観光業

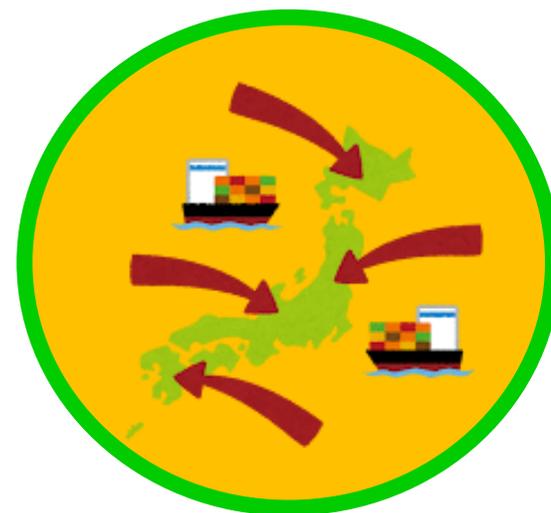
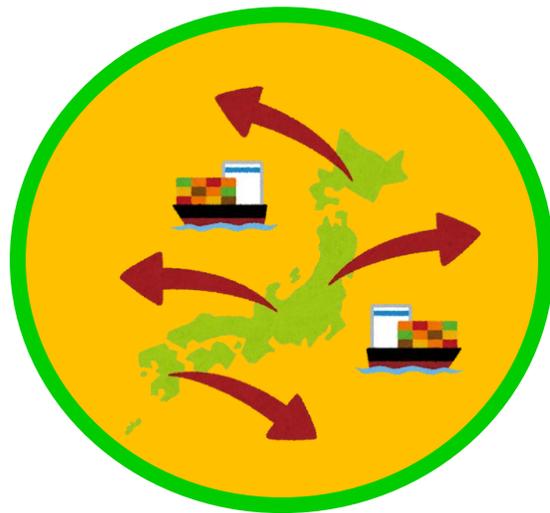


輸入企業



🍀 もう少し詳しく説明すると

ドル高・円安が進むと、日本円の相対的な価値が下がり、1ドルで得られる日本円の額は増加します。このため、輸出企業は、商品販売で得た外貨が同じでも円換算すると増額になります。つまり、ドル高・円安は増益要因になります。一方、輸入企業は、より多くの円で外国から製品を購入しなければなりません。また、原材料を海外から購入する企業のコストは上昇します。つまり、ドル高・円安は減益要因になります。



まとめ

整理すると、ドル安・円高になると、輸出企業には不利に、輸入企業には有利に働きます。一方、ドル高・円安になると、輸出企業には有利に、輸入企業には不利に働きます。



ドル安・円高

輸出企業には不利



輸入企業には有利

ドル高・円安

輸出企業には有利



輸入企業には不利



🌱 投資家の行動:

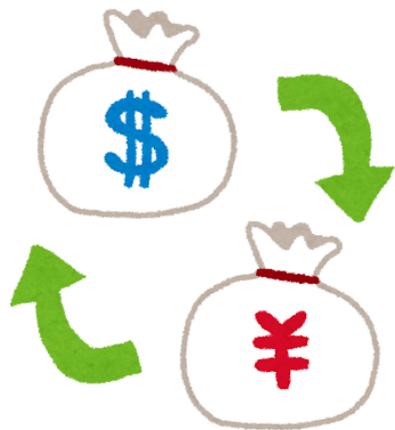
投資家の行動とは、為替市場で通貨を取引（売買）することです。投資家が**ドル安**を**予測**すると、先回りしてドルを売り、他の通貨（例えば円）を買う動きが活発になります。このような投資家の行動が、**ドル安・円高**の動きを加速させることがあります。

円の価値が上がる！



ドルの価値が下がる！

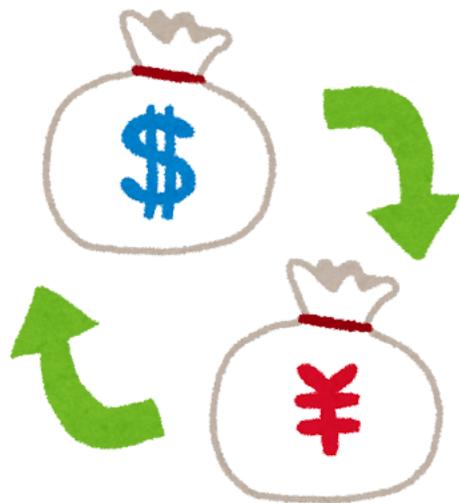
例えば、1ドルを150円で売ると150円が受け取れます。その後、為替相場が1ドル=140円にドル安になったところで同じドルを買い戻します。この場合、140円を支払うことになるので、結果として1ドルあたり10円の利益が生まれます。もし1,000ドルを取引した場合、利益は10,000円になります。



$$150\text{円} - 140\text{円} = +10\text{円}$$



為替レートの動きは景気動向に大きな影響を与えます。





今後もFRBの動向や市場の反応に
目が離せない日々が続きそうです。



では、また次回



制作 金融大学

